あいあい愛逢

第52号

特定非営利活動法人　愛逢
尼崎市小中島１-２０-２１
電　話　06－6493－1424
ＦＡＸ　06－6493－1443
発行責任者　長谷川　達雄
発行日　2013 年 12 月 3 日

祝！愛逢の家　開設４周年

11 月 3 日、文化の日に、４周年の記念式典を開催しました。うれしいことに、入居者５人、全員揃って元気に、この良き日を迎えることができました。
もうひとつうれしいことに、この家から旅立たれた方のご家族が参加してくださいました。
“「愛逢の家」が懐かしい場所になっている”と他の何にも代えがたい言葉を頂きました。
式典のイベントには、フラダンスとウクレレのお 2 人をお迎えし、楽しい時間を持つことができました。美人スタッフ！？もフラダンスで花を添えました。
いつもながらの、スタッフ総出で作った心のこもった手料理で皆様と、交流を持つことができました。

恒例（高齢）の全員集合　はいッ！アロハ～♪

乾杯～～☆

当日は数々のお祝いをいただきまして、ありがとうございました。お礼申し上げます。
何はともあれ無事４年を迎えることができました。これも一重に会員の皆さま、With あい、ご家族、スタッフの支えあっての賜物と感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

（大森）

NPO 法人愛逢の運営は、活動や趣旨に賛同してくださった皆様方の、会費やご寄付で支えられています。ぜひご理解いただき、会員登録をお願い致します。（毎年４月更新）

◆正会員　入会費　２,０００円（初回のみ）
年会費　３,０００円
総会で議決権を持つことができます。

◆賛助会員　年会費　２,０００円

NPO 法人愛逢の事務所です。
お気軽にお立ち寄りください。

NPO 法人愛逢では、地域の皆様が日常生活で「困ったなぁ…」と思ったときに、ご相談いただける場所です。様々な形の**【困った時はお互い様精神】**が愛逢の掲げる思いとして今日も活動しております。

第２回ホームホスピス全国合同研修会 in 宮崎
暮らしの中で“死にゆく”こと
生活のリズムを整えるケアの取り組み

■日程：11月８日（金）～9日（土）／■場　所：サンホテルフェニックス

ホームホスピスは民家を活用し、利用者が自分の家にいる雰囲気のまま最期まで安心して暮らせる施設。宮崎市でその利用者を支える看護師や介護ヘルパーなどのスタッフが意見交換する「ホームホスピス全国合同研修会」が開かれました。（日本財団 HP より引用）

全国から、約 170 人が参加。
排泄・食事・睡眠など看取りのケアと、地域との関わりをテーマにした、講演会や、事例発表が行われ、理念やケアのあり方を学ぶことができた。
また、昨年に比べ、参加者が関西以西に偏りをみせていたものから、東への地域的な広がりを見せていることに、ホームホスピスの試みが全国に浸透しつつあることを感じさせることができた。

ホームホスピスでの実践は、自宅での看取りの、実に見事なお手本としてあり、それを少しでも活用できれば、ほんとの自宅での看取りに役立つのではないだろうかと思う。
「愛逢の家」を運営する一方で、これまでの経験に加えて、４つのケアの事例報告などを参考にしながら、自宅での看取りをする人への支援・相談活動を推進できれば、「地域で住み続ける」ことが少しは楽にできるかも？

（長谷川）

食事づくりの事例発表を終えて
「愛逢の家」食事担当　大嶋千代美

11 月 8 日早朝の伊丹空港を飛び立ち、宮崎空港に降り立ちました。研修会の開始まで少し時間があったので、写真展（いのちつぐみびと）を鑑賞してから、会場である国際会議場に入りました。
開会は 13 時 30 分でしたが、私たちの出番は 15 時。全国からそうそうたるメンバーが集まる中、緊張して壇上に上がりました。
まな板の上の鯉！とばかりに覚悟を決めて発表に入りましたが、手が震え、声が震え…その時、同じく登壇していたスタッフの西山さんが、背中をトントンと叩いてくれたので気持ちが楽になり、落ち着きを取り戻せました。　それからは、食事づくりに関わる自分の思いや、入居者とヘルパーが同じ食卓につくという愛逢の家の思いなどを伝えることができました。
降壇する時にも大きな拍手をいただき、夜の懇親会でも見知らぬ方々からのお声掛けも多く、喜びを感じました。
食事に関するいくつかの質問も受け、お役に立てるのならと、ちょっとした経験をお話しました。
どなたも食事に関しては、大変ご苦労されておられるようで、食べることは大事なことだと、より一層確信できました。
「愛逢の家」でも、食事の傾向が少しずつ変わってきていますが、これからも前向きに努力しなければいけないと、思いながら帰路につきました。

水辺まつり 2013 10th anniversary
緒名川・緑川の構築復元フォーラム

9 月 22 日（日）晴天の下、開催された第 10 回水辺まつりは、猛暑の中、大盛況のうちに幕を閉じました。普段は同じ地域でも、活動の場が違う仲間たちが一堂に会し、ひとつのまつりを作り上げる雰囲気は、新鮮であり、愛逢にとって、地域と繋がる貴重な場となっています。　（山下）

第２回　地域向け市民連続講座
老いのことちょっと考えませんか？

「老いとどう向き合っていくか」を地域の皆さまと共に考えるために、10 月 9、15、19 日の日程で市民講座を開催しました。東園田にある安養寺の本堂をお借りし、瓦宮町会や、園田南と園田北の地域包括支援センターの協力を得て、講座を開催することができました。3 日間で計 85 人の参加者があり、アンケートの内容からも老・病・死について、市民の皆さまの関心の高さを知ることができました。
　年を重ねても病気になっても、暮らし続ける事ができる地域に、どのようにすればできるかを、これからも皆さまと共に考え、地域の方々とつながりながら取り組んでいきたいと思います。

（西山）

ちょっと早めの「望年会」――配食サービス

※忘れるのでなく、来年に望みを託しての意味を込めての「望年会」（ぼうねんかい）です

11 月 4 日（日）、きらめきセンターにおいて 11 人のボランティアが集まり、一足お先の望年会を開催。日頃感じていることなど、忌憚のない意見交換から始まり、介護保険や税金など多岐に話題が広がり、盛り上がりました。

調理ボランティアからは、日々の業務で工夫している点など意見交換ができ、普段なかなか顔を合わせないスタッフ同士交流ができました。途中参加した海士副理事長からは、配食サービスは、愛逢の歴史と共に歩んできた重要な事業であり、おひとり様が増えていく今後も、不可欠な活動であるとのエールを受けました。（橋平）

全体研修を行いました

11 月 23 日（土・祝）小中島会館において、「愛逢の家」についての、情報を共有することをテーマに、20 人が参加して行われました。
つい先日、開設４年となった愛逢の家ですが、きっかけとなった利用者の方のお話を軸に、共感し協力した人と思い（夢）を実現させていくプロセスが明らかにされ、改めてホームホスピスの意味が可視化できました。進行役の岩本理事からも、いかにも愛逢らしいエピソードを聴き、これからも NPO 法人の良さを大事にしていって欲しいとコメントがありました。最後に長谷川理事長より、「地域での活動の重要性を認識しましょうとの挨拶で、終了しました。

祝！園田苑 25 周年

25 年、園田苑は、本当に地域と共に歩んで来ました。そこには時代の要請も勿論あったでしょうが、園田苑がなければ愛逢も生まれていなかったかも知れません。福祉の種がまかれ、人が育ちました。

10 月 12 日、盛大に記念式典が行われました。愛逢からもスタッフ、「愛逢の家」の入居者、ボランティアが参列させていただきました。食べきれないほどのご馳走を頂き、前列に車椅子で陣取って趣向を凝らした出し物を見学でき、楽しい一時を過ごせました。ありがとうございました。

予告

暮らしの中で“死にゆく”こと

- **日時：2014 年 2 月 22 日（土）13:00～16:00**
- 場所：尼崎総合文化センター あましんアルカイックホール・オクト
- 主催：ホームホスピス推進委員会 関西支部
- 事務局：NPO 法人愛逢

第９回地域交流もちつき大会

12 月 15 日（日）午前 11 時から

場所：ふれあいセンター

一緒にお餅をつきましょう～♪

丸めましょう～♪食べましょう～♪

みんなきてくださ～い　<(^0^)>

年末年始休業のお知らせ

2013 年 12 月 30 日(月)～2014 年 1 月 3 日(金)

上記の期間、事務所は、お休みさせていただきます。

お問い合わせなど、年末は 12 月 28 日（土）17 時まで、年始は 1 月 4 日（土）9 時からとなりますので、よろしくお願いします。なお、配食サービスは 12 月 30 日～1 月 4 日までお休みいたします

ほっと待夢（たいむ）

今年も残り少なくなり、迎春の準備をする時期になりました…は、どうやら一昔前の話になってきたようです。

年始は、市場がしまってしまうことと、お正月くらいは、ゆっくりした時間を持つために、年末は主婦が多忙を極めることになっていました。家族は言うに及ばず、近隣をあげての大掃除は、ご近所づきあい、つまり地域コミュニティが密でもあった証ですね。

最近はどうでしょうか？三が日でも、コンビニもスーパーも開いています。おせち料理も既製品であっても買うところはまだしも、お正月だからといって普段の食生活を変えない家庭も増えています。新年のご挨拶である年賀状もメールで…というネット社会です。

当然ライフスタイルは、時代によって変遷していくものでしょうけど、その過程で、人とのつながりが希薄になり、四季折々の生活のけじめがなくなってきていることに、懸念を覚えます。

来年も愛逢は、地域のつながりを広げ、深めることを目標に事業を展開してまいります。

どうぞ、良いお年をお迎えください。（海）

手洗い・うがいの励行で、風邪を予防しましょう。
人混みに出かける時は、マスクをお忘れなく。

ミッション（社会的使命）

私たちは、多様な生き方が尊重され誰もが安心して暮らせる地域をつくる為に、仲間と支えあい（愛）、つなぎあ（逢）っていきます